



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村英夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門管掌 (氏名) 加藤祐蔵 TEL 03-6418-4391  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	220	△74.7	△130	—	△133	—	△170	—
2020年3月期第2四半期	870	11.2	192	68.6	186	52.5	151	27.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △170百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 151百万円(27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△4.00	—
2020年3月期第2四半期	3.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,230	3,704	70.8
2020年3月期	5,187	3,875	74.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,704百万円 2020年3月期 3,875百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから引き続き未定といたします。業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	42,728,733株	2020年3月期	42,728,733株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	16,786株	2020年3月期	16,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	42,711,947株	2020年3月期2Q	42,711,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから引き続き未定といたします。業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の急速な悪化により、極めて厳しい状況にあります。緊急事態宣言解除後に感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、個人消費は持ち直しつつも、消費者の生活環境や消費意識も大きく変化させているなど、収束時期や感染拡大による影響が見通せず、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力である温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する温浴施設「テルマー湯」におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令により、計56日間の臨時休業を実施いたしました。その後、緊急事態宣言解除を受けて6月1日からは感染拡大防止策を講じつつ営業を再開したものの、従来の24時間営業は行わず10時から22時までの時短営業で対応いたしました。連日の「新宿で感染拡大」との報道を受け、以前のような客足は戻らず推移いたしました。臨時休業明けの6月～8月は月間の来館者数が3か月連続で1万人を下回り、回復の兆しが見えず極めて厳しい状況にありました。当第2四半期連結累計期間の来館者数は、前年同四半期に比べ79.0%減の3万4千8百人（前年同四半期は16万5千9百人）と大幅に減少いたしました。9月には月間の来館者数が1万人を超え、徐々にではありますが回復基調にあります。また、臨時休業中から実施していた浴場のリニューアル工事の一部が8月に完成し、男湯・女湯とも新たに中性電解水風呂を新設いたしました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ81.9%減少し1億3千6百万円、営業損失は1億2千1百万円（前年同四半期は営業利益1億8千1百万円）となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために休業した56日分の固定費（人件費・賃借料・減価償却費）の合計額5千万円を「新型コロナウイルス感染症対応による損失」として特別損失に計上しております。

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有するビルの住居部分の賃料につきまして、継続して安定した収入を得ることができました。しかしながら、テナント部分の賃料収入に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部のテナントにおきましても臨時休業を実施いたしました。そのため、賃料の回収が厳しい状況となり、両者協議のうえ、期間限定で賃料の値下げに応じております。その結果、売上高は前年同四半期に比べ16.3%減少し8千3百万円、営業利益は前年同四半期に比べ16.6%減少し6千1百万円となりました。

なお、繊維事業につきましては、当社が刺繍レースを企画し仕入れて販売しておりましたが、2020年3月31日をもって当事業を廃止いたしました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同四半期に比べ74.7%減少し2億2千万円となりました。営業損失は1億3千万円（前年同四半期は営業利益1億9千2百万円）、経常損失は1億3千3百万円（前年同四半期は経常利益1億8千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億7千万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億5千1百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより前連結会計年度末と比較して4千2百万円増加し、52億3千万円となりました。負債は、長期借入金の増加などにより前連結会計年度末と比較して2億1千3百万円増加し、15億2千5百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少などにより前連結会計年度末と比較して1億7千万円減少し、37億4百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、9千1百万円増加し、10億1千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、9千7百万円（前年同四半期は2億6千9百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失の計上によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5千5百万円（前年同四半期は1千1百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、2億4千3百万円（前年同四半期は6千6百万円の使用）となりました。これは、主に長期借入れによる収入であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから引き続き未定といたします。業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	924,243	1,015,263
受取手形及び売掛金	33,744	20,224
商品	923	649
貯蔵品	829	605
その他	18,997	19,403
貸倒引当金	△1,240	△1,985
流動資産合計	977,499	1,054,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,034,420	1,973,811
機械装置及び運搬具(純額)	60,060	67,867
工具、器具及び備品(純額)	26,861	22,809
土地	1,834,794	1,834,794
建設仮勘定	—	24,490
有形固定資産合計	3,956,136	3,923,772
無形固定資産		
借地権	83,445	83,445
ソフトウェア	3,194	2,112
電話加入権	1,528	1,528
無形固定資産合計	88,169	87,086
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	166,866	171,560
貸倒引当金	△2,191	△7,113
投資その他の資産合計	165,274	165,046
固定資産合計	4,209,580	4,175,906
資産合計	5,187,079	5,230,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,502	13,194
1年内返済予定の長期借入金	113,400	121,720
未払金	33,303	52,357
未払法人税等	88,657	89,357
賞与引当金	3,131	3,076
株主優待引当金	13,769	8,120
ポイント引当金	6,329	5,346
役員退職慰労引当金	13,200	—
その他	63,449	56,514
流動負債合計	357,742	349,687
固定負債		
長期借入金	641,600	876,580
資産除去債務	155,571	156,426
再評価に係る繰延税金負債	10,052	10,052
繰延税金負債	37,887	36,466
長期預り金	108,949	96,524
固定負債合計	954,060	1,176,050
負債合計	1,311,803	1,525,737
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,347,561	3,347,561
利益剰余金	410,940	239,994
自己株式	△2,235	△2,235
株主資本合計	3,856,265	3,685,320
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	19,010	19,010
その他の包括利益累計額合計	19,010	19,010
純資産合計	3,875,275	3,704,330
負債純資産合計	5,187,079	5,230,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	870,483	220,388
売上原価	597,117	270,721
売上総利益又は売上総損失(△)	273,366	△50,333
販売費及び一般管理費	80,847	79,864
営業利益又は営業損失(△)	192,518	△130,198
営業外収益		
受取利息	3	4
未回収利用券受入益	621	1,139
受取保険金	—	664
補助金収入	130	375
貸倒引当金戻入額	617	—
その他	579	647
営業外収益合計	1,951	2,831
営業外費用		
支払利息	7,628	6,493
その他	598	65
営業外費用合計	8,227	6,558
経常利益又は経常損失(△)	186,242	△133,925
特別利益		
補助金収入	—	13,098
特別利益合計	—	13,098
特別損失		
新型コロナウイルス感染症対応による損失	—	50,839
固定資産除却損	11	—
特別損失合計	11	50,839
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	186,230	△171,666
法人税、住民税及び事業税	35,702	700
法人税等調整額	△1,420	△1,420
法人税等合計	34,281	△720
四半期純利益又は四半期純損失(△)	151,948	△170,945
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	151,948	△170,945

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	151,948	△170,945
四半期包括利益	151,948	△170,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,948	△170,945
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	186,230	△171,666
減価償却費	99,371	72,329
新型コロナウイルス感染症対応による損失	—	50,839
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△276	5,667
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△54
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	217	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△13,200
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△5,680	△5,649
ポイント引当金の増減額(△は減少)	707	△983
受取利息及び受取配当金	△3	△4
受取保険金	—	△664
補助金収入	△130	△13,473
支払利息	7,628	6,493
有形固定資産除却損	11	—
売上債権の増減額(△は増加)	19,304	13,520
たな卸資産の増減額(△は増加)	△922	498
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,179	△9,308
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,396	11,016
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△4,429
長期預り金の増減額(△は減少)	6,000	△12,425
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,894	△4,106
その他の負債の増減額(△は減少)	△13,069	△7,040
小計	286,904	△82,642
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△8,826	△6,362
保険金の受取額	—	664
補助金の受取額	130	13,473
新型コロナウイルス感染症対応による損失の支払額	—	△25,463
法人税等の還付額	—	3,316
法人税等の支払額	△8,626	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,584	△97,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,880	△55,260
無形固定資産の取得による支出	△350	—
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,230	△55,270
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△66,150	△56,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,150	243,300
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	192,204	91,020
現金及び現金同等物の期首残高	599,886	924,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	792,091	1,015,263

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。